

こちらは日本語参考訳です。原文(英文)と差異のある場合は原文を優先頂くものとします。)

October 8, 2012

題目 : FUS Identification(以後 ID)(IR、TGA、DSC)試験結果で認められた“差異”をお知らせする新プロセス

UL は、FUS ID(IR、TGA、DSC)試験結果をお知らせする新たなプロセスを開始する事になりました。この新プロセスは、FUS ID 試験結果が登録されているリファレンスデータと"差異"が認められると判断された FUS ID(IR、TGA、DSC)試験結果にのみ適用されます。

リファレンスデータと比較して差異がない場合、FUS 試験結果をお知らせするプロセスは変更ありません。

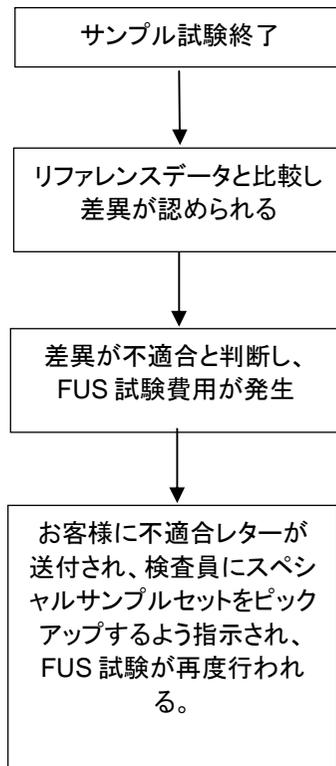
新プロセス

- UL は、FUS 試験結果を登録されているリファレンスデータと比較し、"差異"が認められると判断した場合、各申請者へ "差異"をお知らせし([テンプレート Letter-Difference from Baseline をご参照ください](#))、検知した“差異”について、詳細な理由をお知らせいただくように依頼いたします。
- 申請者は、UL の報告書の日付から 30 日以内に、検知した "差異"について詳細な理由を**レターの発行者に**([テンプレート Letter-Difference from Baseline をご参照ください](#))お知らせいただく必要があります。
- UL のエンジニアは、申請者からお知らせいただいた理由とすべてのデータを検証し、検知した"差異"に対する解決策を得ることができるかどうかを判断します。解決策が得られる場合、UL は適合レターを発行して、FUS 試験の結果報告を終了します。UL のエンジニアは、この判断の段階で申請者と緊密に連携します。
- 検証後、追加試験が必要であると判断した場合、製造工場を訪問し、スペシャルサンプルセットをピックアップするようフィールドサービススタッフに指示します。
- 同じエンジニアが、“スペシャル”サンプル試験の結果を評価し、試験の結論として不適合とみなされるかどうか判断します。

プロセスの流れ

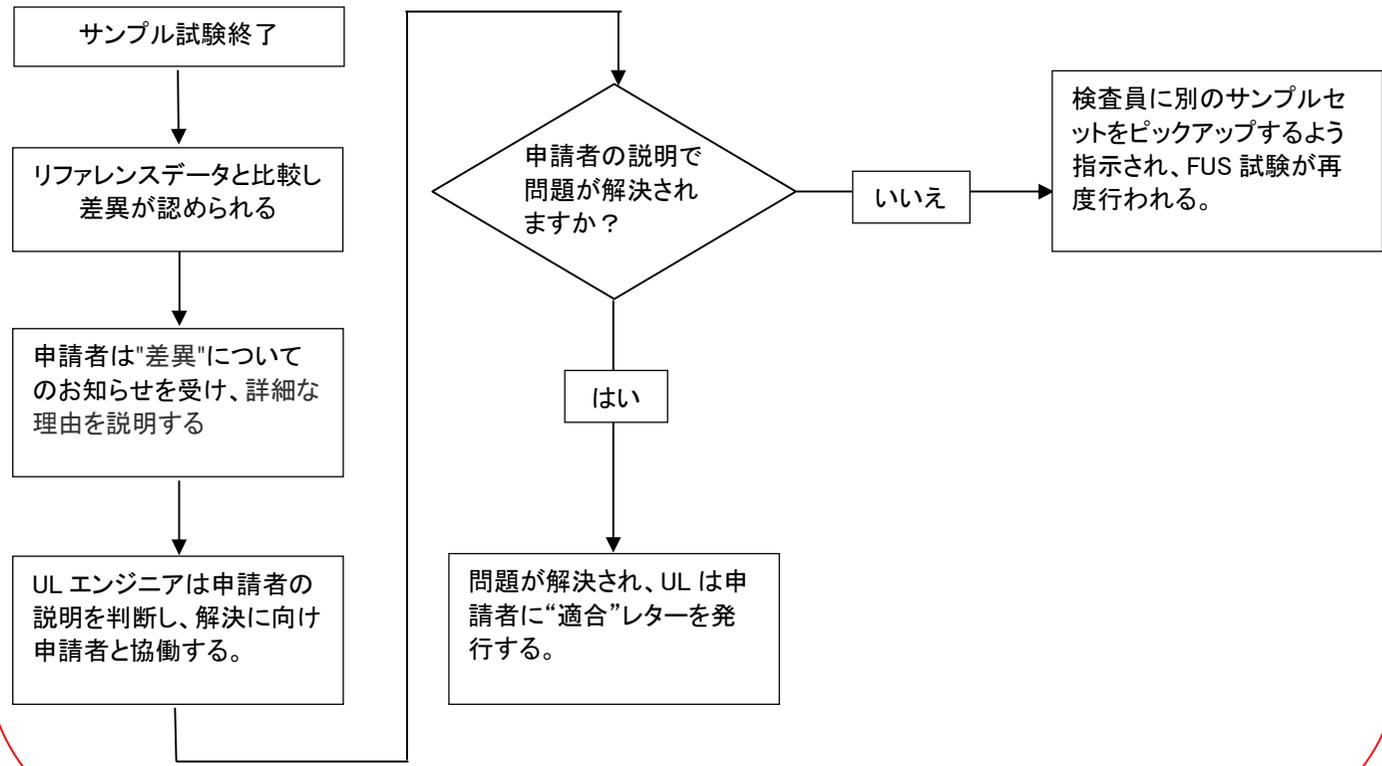
現行プロセス (Scenario 1)

Scenario 1 :
結果に燃焼試験の不一致が含まれる場合はこちらのプロセスが適用されます



新プロセス (Scenario 2)

Scenario 2 :
ID(IR, TGA, DSC)結果がリファレンスと一致しない場合は
こちらのプロセスが適用されます



Why, Where, Who, When

- Why - お客様から頂いたフィードバックを元に、UL は FUS ID 試験結果をお知らせするプロセスを見直し、潜在的な不適合を解決するために、プロセスを変更して、お客様を支援するための変更が必要であると判断しました。
- Where - 新プロセスは、グローバルにすべての UL オフィスで実施されます。
- Who - 新プロセスが適用される対象カテゴリーは次のとおりです：
 - プラスチック - QMFZ2、QMFZ3、QMFZ8、QMFZ9
 - 積層板 - QMTS2、QMTS3、QMTS8
 - コーティング - QMJU2、QMJU3
- When - FUS ID 試験結果とリファレンスデータとの "差異"をお知らせするプロセスの目標開始日は、2012 年 10 月 15 日以降です。

UL のフォローアップサービス・プログラムおよび該当試験要求に関し、引き続きご協力をお願いいたします。